

倉吉市空き家活用事業

倉持 裕 彌

1. 事業背景

3

効 総 連携 支援

2. 事業内容

続 「 許 下 交渉 マネ ジャ ギャラ 森氏
「 許 下 交渉 マネ ジャ ギャラ 森氏
」¹ イ ピレ 受

¹ アサダワタ 氏 提唱・ 践 「
践 」 <http://sumibiraki.blogspot.com>

家を一部オープンにし誰でも利用できる空間にすることである。こうすることで交流の場が生まれ、創造的な活動が期待される。そこが情報や交流の結節点となれば、維持管理の課題に新たな視点が開ける可能性がある。そこでなるののをるた、のれる、家の一にし、のの点とし活用することになった。

の、の家の一部と、ののである。それだけで、なので、一、が、し、的な、ンでしれるをた。こうしたプ、題、のの、をるうでに、である。

、空き家の、を開し、11、に一、オープンを、12、に一とし、オープンとなった。

3. 事業評価・効果

これまでのとこ、の、にた、でを、き。そこで、を3の期にけ、的にを、しきた。

ま、空き家をするに、の、ンをするの、をしきたことに、があた。的に、での、3、に、し、3、に、のある、の、生、し、1、れのし、3、である。

、なが、これ、の、し、期が、に、することができな、た。に、を、るときに、れたとし、の、を、の、し、に、ン、に、た、の、し、があ、したながある。その、にも、に、をものきにする、や、に空き家の、や利活用の可、を、も、うことができた。

開、の、で、をし、た家の、とした。この一に、に、たが、に、をし、一の活用可、を、ることができた。また、の、すが、年物、が空き家であ、たことに触れ、気が、が消、た、が、し、るのを、れるの、うれし、と意、を、述、る。

、オープン、2、が、し、500、とな、る。また、物の造が、と、を、け、けるうにな、そこを、に開、し、るた、に、家に、を、れ、のパンフ、ットを取、な、も、るので、数、500名を超、る。

そし、維持管理の、しが、古、あるの、団が、この一を団、に、のある、家の設、びこれまで、た、家等の遺族を中、とした交流、ペー、とし、活用することを検討し、る。これまで、で、た、もこの、団と、のある、家を活用し、きたと、脈、と息づ、の伝統と、ネットワークが、空き家の活、用と、う、で浮、び、がる可、があること、意外な、である。

改修工事中の空き家

展示の様子

改修した空き家（手前）と伝統 の （ ）